熟語 ①

熟語（じゅくご）には、前の漢字があとの漢字を説明する働きをするものがあります。「小鳥」は「小さい鳥」というように、前の漢字があとの漢字の意味を説明しています。

◆　前の漢字があとの漢字の説明になる熟語（じゅくご）

大木（たいぼく）　大きな木

船旅（ふなたび）　船の旅

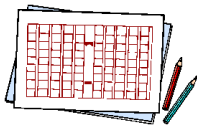
親友（しんゆう）　親しい友

青空（あおぞら）　青い空

熟語 ②

熟語（じゅくご）には、あとの漢字が前の漢字の説明をする働きをするものがあります。「登山」は「山に登る」というように、あとの漢字から前の漢字へと読むと熟語（じゅくご）の意味がわかります。

◆ あとの漢字が前の漢字の説明になるじゅく語



作文（さくぶん）　文を作ること

開店（かいてん）　店を開けること

消火（しょうか）　火を消すこと

着席（ちゃくせき）　席に着くこと

熟語 ③

熟語（じゅくご）には、反対の意味を表す漢字の組み合わせになっているものがあります。「大小」は「大きい」と「小さい」というように、反対の意味を表す漢字が組み合わさっています。

◆　反対の意味を表す漢字の組み合わせになっている熟語（じゅくご）

左右（さゆう）	「左」と「右」
上下（じょうげ）	「上」と「下」
明暗（めいあん）	「明るい」と「暗い」
売買（ばいばい）	「売る」と「買う」

熟語 ④

熟語（じゅくご）には、似た意味の漢字を組み合わせたものがあります。「広大」は「広い」と「大きい」というように、前の漢字とあとの漢字が似た意味の組み合わせになっています。

◆　似た意味の漢字を組み合わせた熟語（じゅくご）

学習（がくしゅう）	「学ぶ」と「習う」
暗黒（あんこく）	「暗い」と「黒い」
寒冷（かんれい）	「寒い」と「冷たい」
行進（こうしん）	「行く」と「進む」

熟語 ⑤

熟語（じゅくご）には、前の漢字があとの漢字の意味を打ち消す働きをするものがあります。「無人」は「無」という打ち消しの意味の漢字がついて、「人がいないこと」という意味を表します。
打ち消しを表す漢字には、ほかに「不」「非」「未（ひつじ）」などがあります。

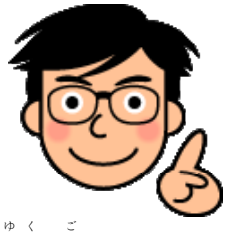
◆　前に打ち消す意味の漢字がつく熟語（じゅくご）

不動（ふどう）　「不」＋「動く」（動かない）

非情（ひじょう）　「非」＋「情」（情がない）

未来（みらい）　「未」＋「来る」（まだ来ない）

無力（むりょく）　「無」＋「力」（力がない）



熟語 ⑥

熟語には、前の漢字あるいは熟語に、ある意味をつけたす字がついたものがあります。「人間性」は「人間」という熟語に「性」という字がついて、「らしさ」という意味をつけ加えています。

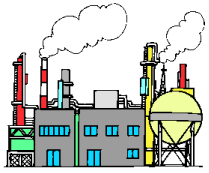
意味をつけたす字には、「的」「化」などがあります。

◆　あとに意味をつけたす字がつく熟語

友好的（ゆうこうてき）　友好＋的

幼児性（ようじせい）　幼児＋性

工業化（こうぎょうか）　工業＋化



熟語 ⑦

熟語には、長い言葉を短くしてできたものがあり、このような熟語を略語といいます。

「特急」という熟語は、「特別急行」を短くした言いかたです。

◆　長い言葉を略してできた熟語（略語）

国体（こくたい）　「国民体育大会」の略

国連（こくれん）　「国際連合」の略

入試（にゅうし）　「入学試験」の略

熟語 ⑧

熟語（じゅくご）には、「々」という文字がつくものがあります。「々」は、前の漢字と同じ漢字であることを表します。

「人々」は「人人」ということで、「人たち」という意味です。

◆ 「々」がつく熟語（じゅくご）

人々（ひとびと）　国々（くにぐに）

次々（つぎつぎ）　日々（ひび）

慣用句

いくつかの言葉を組み合わせ、決まった言いかたで、決まった意味を表すものを慣用句〔かんようく〕といいます。

慣用句には、体の一部を表す言葉がつくものが多くあります。

- 君は顔が広い〔＝知り合いが多い〕ですね。
- 犯人はとうとう口を割(わ)った〔＝白状した〕。
- 今ごろ後かいしてもあとの祭り〔＝手おくれ〕だよ。
- 話をそらしてお茶をにごした〔＝いいかげんにごまかした〕。

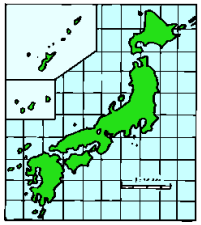
反対語 ①

反対の意味を表す漢字を覚えましょう。

善（ぜん）	ー	悪
問	ー	答
呼	ー	応
新	ー	旧
主	ー	客

反対語 ②

二字じゅく語の反対語を覚えましょう。



国内（こくない）	―	国外（こくがい）
開業（かいぎょう）	―	閉業（へいぎょう）
拡大（かくだい）	―	縮小（しゅくしょう）
善人（ぜんにん）	―	悪人（あくにん）
事前（じぜん）	―	事後（じご）

反対語 ③

「不」「無」「非」「未（ひつじ）」など、打ち消しを表す言葉がつく反対語を覚えましょう。

有害（ゆうがい） ― 無害（むがい）

豊作（ほうさく） ― 不作（ふさく）

平常（へいじょう） ― 非常（ひじょう）

決定（けってい） ― 未定（みてい）

幸福（こうふく） ― 不幸（ふこう）

反対語 ⑤

動作や様子を表す言葉の反対語を覚えましょう。

おいしい料理 ⟺ まずい料理

火をつける ⟺ 火を消す

ゆるやかな坂道 ⟺ 急な坂道

バスに乗る ⟺ バスをおりる

書くものがある ⟺ 書くものがない

物価が高い ⟺ 物価が安い

同意語

似た意味をもつじゅく語を覚えましょう。

心配（しんぱい）	―	不安（ふあん）
損害（そんがい）	―	損失（そんしつ）
永久（えいきゅう）	―	永遠（えいえん）
建築（けんちく）	―	建造（けんぞう）
規約（きやく）	―	規定（きてい）
天然（てんねん）	―	自然（しぜん）

ことわざ

生活の中から生まれた、教訓や生きるうえでの知恵(ちえ)などを短い言葉で表したものがことわざです。いろいろなことわざを覚えて、ふだんの生活の中でも使えるようにましょう。

- 石の上にも三年
  〔冷たい石の上でも、三年間すわり続ければあたたまる。〕
  ― 何事もがまん強く努力すれば、必ず成功する。

- 三つ子(さい)のたましい百まで
  〔三歳の子どもの性質は、百才までも続く。〕
  ― 小さいころの性質は、大きくなっても変わらない。

- 一年の計は元旦(がんたん)にあり
  〔その年の計画を一月一日に立てるとよい。〕
  ― はじめにしっかりと計画を立てることが大事だ。

- 百聞は一見にしかず
  〔百回聞いても、一回見るにはおよばない。〕
  ― 実際に見てみればよくわかる。